

平成 24 年 2 月 10 日

会社名 株式会社アールテック・ウエノ

問合せ先 ビジネスマネジメント部長 中村 宏司

電話番号 03-3596-8011

平成 24 年 3 月期第 3 四半期の業績に関するお知らせ

当社は、本日平成 24 年 3 月期第 3 四半期決算短信を発表しましたのでお知らせします。

当期における主な内容は以下の通りです。

【四半期実績推移】

(単位：百万円)

	平成 23 年 3 月 第 3 四半期	平成 23 年 3 月 第 4 四半期	平成 24 年 3 月 第 1 四半期	平成 24 年 3 月 第 2 四半期	平成 24 年 3 月 第 3 四半期	対前年同期	
						増減額	増減比
売上高	831	1,426	919	953	733	-98	-11.8%
レスキュラ®点眼液	423	* ¹ 805	419	376	357	-65	-15.5%
Amitiza®カプセル	389	612	492	547	369	-19	-4.9%
研究開発支援サービス	19	8	6	30	6	-13	-68.9%
売上総利益	556	1,022	603	660	464	-91	-16.4%
研究開発費	317	311	157	160	*²409	91	28.9%
営業利益	35	486	264	287	-121	-156	-446.3%
経常利益	42	491	266	281	-116	-158	-375.3%
当期純利益	78	322	173	179	-83	-161	-205.5%

*1. 平成 23 年 3 月期第 4 四半期のレスキュラ®点眼液売上 805 百万円には、Sucampo Manufacturing and Research AG 社より受領した
ウノプロストンの日本、中国、台湾、韓国及び北米以外の地域における開発、製造及び商業化権のライセンス契約一時金（244 百万円）が
含まれております。

*2. 平成 24 年 3 月期第 3 四半期の研究開発費 409 百万円には、一般財団法人化学及び血清療法研究所への遺伝子組み換え人血清アルブミン
のデータ使用許諾料が含まれております。

【計画達成率】

(単位：百万円)

	2012年3月期 (通期計画)	2012年3月期 第3四半期	通期計画に 対する達成率
売上高	4,239	2,606	61.5%
レスキュラ®点眼液	2,068	1,153	55.8%
Amitiza®カプセル	2,070	1,409	68.1%
研究開発支援サービス	100	43	43.1%
営業利益	1,146	430	37.5%
経常利益	1,158	430	37.2%
当期利益	752	269	35.8%

売上高、および利益は、想定通りに推移しております。

第3四半期累計期間において通期計画に対する達成率が低めに推移している主な理由は以下の3点です。

- ① 昨年（平成23年）3月に締結した Sucampo Manufacturing and Research AG とのウノプロストンのライセンス契約に基づくライセンス収入を第4四半期会計期間に見込んでいる。
- ② 国内向けレスキュラ®点眼液（参天製薬株への納入分）の売上を第4四半期会計期間において通期計画の25%以上見込んでいる。
- ③ 一般財団法人化学及び血清療法研究所への遺伝子組み換え人血清アルブミンのデータ使用許諾料の計上により、研究開発費が通期計画の75%以上となっている。

経営に関する最新情報（平成23年10月1日から現在まで）

・平成23年10月18日、当社はドライアイ治療用点眼液の早期の開発再開を目指し、Novozymes Biopharma DK A/S 社から遺伝子組換え人血清アルブミンの供給を受ける基本合意に至ったことを発表いたしました。

・平成23年10月19日、当社は一般財団法人化学及び血清療法研究所とドライアイ治療用点眼液の開発に必要となる遺伝子組換え人血清アルブミンの安全性などのデータの使用許諾についての基本合意に至ったことを発表いたしました。

本日、平成 24 年 3 月期第 3 四半期決算短信について、経営陣を代表して当社代表取締役社長 眞島行彦は、以下のコメントを発表しました。

「当社は本日、平成 24 年 3 月期第 3 四半期決算短信を発表しました。売上高、利益共に想定どおりに推移しております。

研究開発パイプラインについては、平成 23 年 10 月 18 日に Novozymes Biopharma DK A/S から遺伝子組換え人血清アルブミンの供給を受ける基本合意に至り、ドライアイ治療薬の開発再開が可能となりました。また、平成 23 年 10 月 19 日には一般財団法人化学及血清療法研究所と遺伝子組み換え人血清アルブミンの安全性データの使用許諾について基本合意に至りました。この基本合意は、ドライアイ治療薬の開発期間の短縮を可能とするものと考えております。現在はこの安全性データを基に今年の夏頃に米国での臨床試験が開始できるように準備を進めております。

我々がターゲットとするドライアイの市場は全世界で 1,500 億円、2017 年までには 2,200 億円になるともいわれており、今後は引き続き中等度以上のドライアイ治療薬の開発・事業化を推進するとともに、ドライアイ患者様のために早期の承認取得を目指してまいります。

当社は、今後も創薬ベンチャー企業として、次世代の新薬上市のための研究開発に重点を置き、より多くの患者様の QOL 向上に貢献したいと考えております。」

以 上